

だいすき! はなぞの Z 花

第4号 令和3年9月3日 花園小学校

「真の王者・金メダリスト」

いろいろな物議のある中、東京オリンピック2020が一年遅れで開催されました。私は体育の教師ですので、スポーツはやるのも見るのも大好きです。中でも自分がやってきた「柔道」はもちろん、陸上・器械体操・空手などに注目してテレビで観戦しました。今回の東京オリンピックを観戦して、特に印象に残った選手がいます。柔道66kg以下級の阿部一二三選手、73kg以下級の大野将平選手、そして、空手男子形の喜友名諒選手です。下の画像はいづれも各選手が金メダルを決めた直後の姿です。



武道には武道特有の表現・言葉があります。代表的なのが、「気」・「間」・「残心」等です。中でも「残心（ざんしん）」は、一つの動作を終えたあとでも緊張を持続する心構えのことをいいます。例えば、剣道で、打ち込んだあと相手の反撃に備える心の構え、弓道であれば、矢を射たあとの反応を見きわめる心の構え等です。

武道の試合は、両者がその試合場から降りるまでが試合。勝利した後、相手の無事を確認し、しっかりと礼を行うことで相手に感謝をし、その試合場にも敬意を払う。「礼に始まり、礼に終わる」、礼儀・礼節をもって試合に臨むことは勝敗よりも重要であるという事を3人の金メダリストは教えてくれました。

この3人の金メダリストは、精神的にも、肉体的にも、本当に鍛え抜かれた真の王者であるといえるのではないのでしょうか。一部の選手は「一本」の瞬間に、ガッツポーズをしました。うれしさのあまり、ついつい「残心」を忘れてしまったのでしょうかね。彼らは柔道のゲームに勝ったけど、まだまだチャレンジャーである、ということなんではないでしょうか。

金メダル直後の大野将平選手のコメントの一部です。

「(東京五輪開催への) 賛否両論があることは理解しています。ですが、われわれアスリートの姿を見て、何か心が動く瞬間があれば本当に光栄に思います。」

選手みなさん、関係者みなさん、本当にお疲れ様でした。

私はまだまだ未熟です。

花園小学校 校長 村松 秀樹

<お知らせ>

8月27日（金）愛知県に緊急事態宣言が発出されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下のように変更いたします。もうすでにご予定等をお考えのご家庭もあるかと存じますがご容赦ください。

9月15日（火）授業公開→中止

11月 6日（土）ふれあい学級→中止とし、11月6日（土）はお休み。

11月8日（月）は通常授業とします。

「ひまわり集会」「芸術鑑賞会」「マラソン大会」等は感染予防対策を十分にとり、できる形で実施する予定です。

5年生野外活動 「みんなそろってはいチーズ！思い出の1まい完成だ！」

5年生は、8月19日（木）・20日（金）美浜少年自然の家で、野外活動を行いました。お盆の期間中は異例の長雨でした。出発時も雨でした。しかし、5年生のお友達は、しっかりと活動に取り組み、友人と協力して、予定していたプログラムを予定通り進めることができました。



「魚つかみ体験」



みんなで作った「カレーライス」



「キャンプファイヤー」



みんなでつかんだ魚は次の日の朝ご飯に！



世界に一つだけの「砂時計づくり」



みんな元気に行ってきました。たくましくなりました。

花園小学校の教育活動の様子，連絡等をホームページでご覧いただけます。

<http://www.hanazono-e.ed.jp/>

